



部会だより

コロイドおよび界面化学部会 若手ワーキンググループ

はじめに

コロイドおよび界面化学部会の若手ワーキンググループ（若手WG）は、若手研究者や学生間の人的交流を図り、研究活動の活性化を目指した取り組みを行っています。若手WGの主な活動として、①「未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会（若手討論会）」の企画と運営と、②部会行事「コロイドおよび界面化学討論会（コロイド討論会）」における大学院生あるいは35歳以下の研究者を対象とした「若手口頭講演賞」の選考があります。

若手討論会の企画と運営

若手討論会の主な内容は、コロイド・界面化学部会の科学奨励賞や技術奨励賞の受賞者をはじめとする注目の若手研究者による最先端の研究についての招待講演と、若手研究者・学生によるグループ討論です。若手討論会は、コロイド討論会に合わせて開催されてきました。1泊2日の合宿形式で開催されていたこともありましたが、近年ではコロイド討論会の前日の午後から懇親会を含めて夜の早めの（翌日のコロイド討論会への参加に影響を与えないと思われる）時間帯に開催されています。

2024年度のコロイド討論会は東北大学川内北キャンパス（仙台市）で開催され、第8回の若手討論会は、9月16日に青葉の風テラスにて行われました。仙台

市中心部の地下鉄駅直上にありながら開放的な会場に、51名の参加者が集いました。2件の招待講演として、久保史織先生（産業技術総合研究所）に「糖と水熱反応とナノ多孔質カーボン」について、森垣篤典先生（ライオン株式会社）に「日用品に潜む界面化学の多様さと面白さ」についてお話しいただきました。お二方とも、研究紹介だけでなく、研究者となった背景、研究の裏話や醍醐味などもお話し下さり、参加者は非常に密度の高い時間を過ごしました。グループ討論では、4つのグループに分かれ、学生が質問しやすい和やかな雰囲気で行われました。グループ討論についてのアンケート結果では、「学生が主体的に参加できる雰囲気がよかった」や「企業の方とラフに話せたのがとてもいい経験になった」などの感想をいただきました。また、懇親会では、食事をしながら、より打ち解けた雰囲気での交流が行われました。

2025年度のコロイド討論会は、9月22～24日に千葉大学西千葉キャンパス（千葉市）にて開催されます。第9回若手討論会は9月21日に実施する予定で準備を進めています。なお、学生の参加者が多い会ですが、お気持ちの若い方のご参加也大歓迎です。房総の地にて、ご参加をお待ちしています。

若手口頭講演賞の選考

2024年度のコロイド討論会において、若手口頭講演賞の選考（部会長への推薦）



若手討論会での集合写真



グループ討論の様子

を行いました。選考された14件の発表者の内訳は、大学院修士・博士前期課程の学生2名、博士・博士後期課程の学生5名、一般7名でした。受賞者の方には、部会ニュースレター Colloid & Interface Communication に研究紹介記事を寄稿していただく予定です。なお、選考にあたって、多くの部会員の方々に大変お世話になりました。この場を借りて、お礼申し上げます。

おわりに

本部会の行事にご参加されたことがない若手研究者の皆様、敷居の低い若手向けイベントにご参加いただき、今後の研究ネットワークの構築を図りませんか？

〔若手ワーキンググループ
村上 良（甲南大学）・渡邊 哲（京都大学）〕

© 2025 The Chemical Society of Japan